

## 報 告 書

学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校において、下記日時に「学校評価協議会」を開催いたしました。協議会では、意見交流を行い以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。今後は、このご意見を受け止め、より良い学校運営と教育活動になりますよう改善に努めてまいります。

- 1 目 的
  - ・学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を図る。
  - ・学校家庭地域が共通理解を持ちその連携協力により学校運営の改善にあたる。
- 2 日 時 令和6年 10月11日（金） 18:00～19:00
- 3 場 所 近畿情報高等専修学校 図書室

学校評価協議会委員名簿（順不同）

職 名	所 属
学校長	近畿社会福祉専門学校
学校長	枚方市立渚西中学校
代表取締役社長	株式会社 三共プラス
課長	学校法人大阪国際学園本部事務局入試広報部
学校教育担当	株式会社 JTB 教育旅行 大阪支店
会 長	近畿情報高等専修学校 同窓会

## 学校評価協議会会議報告

- 1 開会 令和6年 10月11日(金) 18時に開会しました。
- 2 校長挨拶  
開会の挨拶を本校校長 小寺 克一が行いました。
- 3 学校評価協議会の役割と運営について 副校長高島より  
学校評価協議会の役割と運営についての説明を行いました。
- 4 学校関係者及び学校評価協議委員の紹介 教頭密より  
本校関係者6名及び学校評価協議委員の紹介を行いました。
- 5 学校評価協議会

議案1 本年度の取り組みについて 副校長高島より  
生徒の学力向上に向けて、土曜講座の充実。テキストに「マナトレ」を活用。  
小論文講座の開講6年目。2年・3年の生徒が(17回)受講。  
教員の育成に向けて、授業力向上委員会の活性化、新任・若手教員研修の定例化と人材育成研修の充実。  
農業実習体験実施。心の豊かさを育む取り組み。  
生徒の喜ぶ行事の実現。  
クラブ活動の充実。

議案2 生徒の状況について 各部長より  
教務部長 西垣、生徒指導部長 飯田、進路指導部長 鈴木が令和5年度の各報告を行いました。

議案3 令和5年度学校教育自己アンケート調査結果について  
昨年度のアンケートについての改善への取り組みとして生徒アンケートNo.23の項目につきまして4年度アンケート評価からの改善取り組みとして行事を起点に体験的に学べる工夫を重ねてきたことが、令和5年度の重要な項目である生徒アンケート項目 N01. N02 の項目につきましてネガティブな数値の減少に繋がっているのではないかと捉えています。

### 【意見交流】

[生徒アンケート結果について]

- ・ No1～No3 の項目について学生生活を楽しんでいることがわかる。
- ・ No23 の項目について生徒の意見を反映させるように工夫すれば良いのではないか
- ・ No40 の項目について将来の職業観や生き方について、もっと様々な取り組みがあっても良いのではないか

- ・No3の項目について「自らあいさつをしている」を「自発的にあいさつをしている」等、聞き方を変えるだけで実態に即した結果になるのではないか
- ・3年生のアンケート結果が昨対比でマイナスである

#### [保護者アンケート結果について]

- ・診断アンケートの保護者向けについてもほとんど全てのデータが好意的な数字を示しており学校とご家庭との強い信頼関係を伺い知ることができる。

#### 【意見交流総括】

入学して頂く生徒についてはあいさつも含め、コミュニケーションの手段が変化してきていること、それから世代によって捉え方が違うということが根底にあるように思う。やはりスマートフォンやSNSの影響力は大きいと感じる。本校では生徒にできるだけ楽しく過ごしてもらうことを目標に据えている。そのうえで自発的に探究する姿勢と生徒一人ひとりの成長発達が確実に進み、様々な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくことが重要である。そして生徒に探究心を持たせるためにはまず、好きな事、興味のあることを切り口に生きていくために必要な力を育成する。そのためには、教師の人間力・そして指導力向上への取り組みを継続することが大切である。

#### 6 校長閉会の挨拶

認知能力と非認知能力という点から本校ではまず生徒が興味のあることを見つけ、自由に取りくませてあげられる環境を提供できるよう努めております。本校では礼儀・礼節、マナーなどの非認知能力的な面を重要であると考えております。勉強の質というのは点数を取るだけでなく、如何に何かに興味を持つかという点にあると思います。このような意味において学ぶことの重要性について現場では苦慮している面もあります。その点で高等専修学校ならではの柔軟性のある仕組みの中でまずは学校に登校してもらう。そのためには楽しいと感じてもらうことが重要だと思っております。このように興味のあること、好きな事を切り口に勉強の必要性を理解し、探究学習を実践させることが教員の試される点であると思います。このような教育活動を実践するために引き続き教員の人間力、そして指導力向上に努めてまいります。本日いただきましたご意見を受け止め、本校の運営に学校運営に活かしてまいりたいと思っております。